

令和5年11月16日(木)5校時

場 所 3年1組教室

授業者 石田 早季

単元名 組み立てにそって、物語を書こう

たから島のぼうげん

<p>児童の実態 ①学力調査 ②既習事項 ③単元に ついて</p>	<p>昨年度12月の標準学力調査では、国語科「書くこと」において、全国平均との差はあまり見られなかったが、より読み手を意識して、事柄の順序を考えながら、書く内容の中心を明確にして書く力を高めていきたい。</p> <p>児童は、2年生「お話のさくしゃになろう」で、絵をもとにした「始め」「中」「終わり」のお話作りを行っている。3年生「きつつきの商売」でも、物語の続きを想像して書く活動を行った。また、本学級の児童においては、図書係がオリジナルで毎月たくさんの物語を書くなど、物語を書くことには好意的な児童が多いとみられる。</p> <p>本単元では、1枚の絵地図をもとに想像を広げ、「中」をさらに2つに分けた「起承転結」の構成に沿って、物語を組み立て、創作していく。</p>
<p>身につけさせたい力</p>	<p>本単元では、1枚の絵地図をもとに想像を広げ、「起:始まり」「承:出来事(事件)が起こる」「転:出来事(事件)が解決する」「結:結び」の構成に沿って、宝物を探しに行く冒険物語を書く。</p> <p>この学習を通して、物語を構成するそれぞれの段落の役割を理解するとともに、自分が書きたい内容が明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成する力を身に付けさせたい。そのためには、物語の設定や冒険の内容を整理したり、場面の様子などの表現方法を工夫したりして、読み手が納得する流れや展開を意識した物語を書く必要がある。</p> <p>協働的学びにより、取材や構成・記述などの各段階において、友達と交流し、考えを共有しながら自分の物語のイメージを創造していく活動を通して、児童の資質・能力を高めていきたい。</p>
<p>ICTの活用</p>	<p>本単元では、ジャムボードを活用して、想像した冒険の内容を書き出したり、整理したりする中で、自分が書きたいことの中心を明確にしていく。その際、書く順番にこだわらず、自分がイメージしやすい場面から書き進める方法をとることで、書くことが苦手な児童にも取り組みやすいようにする。整理した内容をもとに、ドキュメントを用いて物語を書いていく。</p> <p>また、各段階において、児童自らが個別最適な学び、協働的な学びを選択し、自らの学びを調節できるような単元計画にすることで、全体を通して、読み手が納得する流れや展開のある物語を創作することを目指したい。</p>

単元の目標

<p>◎書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりを段落でついたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。</p> <p>◎書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。</p> <p>○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。</p> <p>○間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えることができる。</p>	<p>[思考力、判断力、表現力等]B(1)イ</p> <p>[思考力、判断力、表現力等]B(1)オ</p> <p>[知識、技能等](1)オ</p> <p>[思考力、判断力、表現力等]B(1)エ</p>
<p>言語活動</p>	<p>物語を書く。[思考力・判断力・表現力等]B(2)ウ</p>

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。	②「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 ③「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。 ④「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章のよいところを見つけている。	⑤積極的に構成を工夫しようとし、学習課題に沿って、物語を書こうとしている。

単元計画		[評価計画]
第1時	ぼうけん物語の「おもしろさの工夫」を知る。	⑤
第2時	「ぼうけん物語を書く」という単元のめあてを設定し、学習計画を立てる。	⑤
第3時から 第4時 (本時)	物語の構想を練り、組み立てメモを作る。 ①地図から想像を広げて、物語の構想を練る。 ②物語の組み立てを確かめる。 ③想像した内容を組み立てメモに整理し、物語の構成を考える。	② ⑤
第5時から 第6時	組み立てメモに沿って、場面の様子を詳しくしながら、物語の下書きを書く。	① ②
第7時から 第8時	下書きを読み返して、物語を完成させる。 ①自分で推敲したり、友だちと推敲し合ったりする。 ②清書をする。	③ ④
第9時	できあがった物語を読み合い、感想を伝え合う。	④
第10時	単元の学習を振り返る。	⑤

研究仮説 「主体的・対話的で深い学び」の実現の視点に立ったICTを利活用した授業展開の工夫

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

1枚の絵地図(ジャムボード)や構成表(ジャムボード)を用いて、アイデアを出し合って考えを明確にしたり、ドキュメントを用いて物語文を書いたりする場面において、個別最適な学びと協働的な学びを繰り返し、自らの学びを調節しながら取り組むことで、自分の考えを深めることができるであろう。

本時の指導

(1)目標

- 地図から想像した内容を組み立てメモに整理し、物語の構成を考えることができる。

(2)展開

過程	学習活動	指導上の留意点
つかむ 5分	1 めあてを確認する。	○前時を振り返り、学習計画に沿って、本時のめあてを確認する。
	2 学習の流れを確認する。	○個別学習や協働学習の仕方を確認することで、活動の見通しがもてるようにする。
考える 15分	3 個人で組み立てメモを作る。	<p>1 考えの形成 [個別学習]</p> <p>○組み立てを考える際に意識することを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「3年とうげ」で学習した『起承転結』の構成で書くこと。 ・前時にみんなで出し合った意見を参考にしてもよいこと。 <p>○ジャムボードの組み立てメモは2通り準備し、どちらか取り組みやすい方を選択して進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『物語を書くのに必要な内容』の付箋を書き換えるもの ・自由に付箋を書いていくもの <p>☆必ずしも『起』の内容の付箋からではなく、自分が思いついた内容の付箋からでよいこととする。</p>
深める 10分	4 友達と組み立てメモを見せ合い、交流する。	<p>2 考えの交流・比較・確かめ[個別・協働学習]</p> <p>○友達と組み立てメモを見せ合い、相談したり、アドバイスをもらったりしながら、考えを明確にさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思い浮かばない付箋に、どのようなことを書いたか聞きに行く。 ・相手の組み立てメモに質問をして、詳しい様子を一緒に考える。 <p>○自分や相手の組み立てが、『起承転結』の構成に沿っているか確認する。</p> <p>☆交流する友達は、物語に登場させたいものや動物の一覧をもとに、自分で選べるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場させたい動物が同じ友達に、相談しに行く。 ・登場させたいものが違う友達に、どんな物語にするのか聞きに行く。
まとめる 15分	5 交流した内容をもとに、組み立てメモを完成させる。	<p>3 考えの深化・まとめ[個別学習]</p> <p>○交流で得た考えやアドバイスをもとに、ジャムボードの付箋を全て書き換え、組み立てメモを完成させるように声をかける。</p> <p>☆すでに書き終わっている児童については、場面の様子をより詳しく考えるなど、自分で進めてよい範囲を伝える。</p>
	6 振り返り	○振り返りの視点を与えることで、本時の学びを実感し、次時への意欲を高める。また、友達と学ぶことの良さを実感させる。

(3)評価

- 地図から想像した内容を組み立てメモに整理し、物語の構成を考えることができる。